

原発の構造

- ・ 関電から取り寄せたパンフレットと、資料を見ながらイメージしました。
- ・ 使用済み燃料を使用済み燃料プールに運ぶアニメーションを見ました。

http://www.jca.apc.org/mihama/stop_pu/fuel_assembly_move.wmv （美浜の会ホームページ参照）

感想：・ 原子炉が想像よりも小さかった。

- ・ 使用済み燃料を取り替える時、水を張り専用クレーンを使い、格納容器から燃料移送管を経て使用済み燃料プールという別の建物に運んでいたことがわかった。
- ・ 放射性物質は5重の壁で守られているというパンフレットを見て、飛び散らないように固めたものが第1の壁、それを入れる金属の管が第2の壁だと知って、複雑な気持ちになった。ちなみに第3の壁は原子炉圧力容器で第4の壁は原子炉の格納容器、そして第5の壁が原子炉建屋だった。使用済み燃料プールは、その外側にあった。

アメリカの使用済み燃料プールの水漏れの話

- ・ 美浜の会のホームページから引用した「使用済みMOX燃料 原発プールでの超長期保管の危険性」を紹介しました。http://www.jca.apc.org/mihama/stop_pu/spmoxfuel_ser01.pdf
http://www.jca.apc.org/mihama/stop_pu/spmoxfuel_ser02.pdf
- ・ 加えて、7月28日の関電交渉の報告も紹介しました。
<http://www.jca.apc.org/mihama/kanden/kepc neg100728.htm>
- ・ アメリカのデービス＝ベッセ原発では、原子炉のふたが溶け1センチ位のステンレスがかるうじに残っていたという事例を紹介しました。

感想：・ 放射能汚染の水漏れは、たまたま労働者が発見したものであるという状態に寒気がしました。

- ・ 原子炉のふたが溶けている写真を見てぞっとしました。
- ・ ライナーとか、プールの水漏れ対策をイメージすることができました。
- ・ プールで水漏れが起こっていないことを確認することはできないと思いました。

高浜町長申し入れと福井在住の人の話、そしてMOX燃料輸送船のVTR

- ・ 高浜町長に、使用済みMOX燃料の行く先が決まっていない現状から原発のプールに残ることもあり得る、アメリカでプールからの水漏れで実際に放射能で環境汚染が起こっている話をしました。すると、高浜町の私たちはこれからもここで住み続けるから安全面は気にしていると、表情が変わりました。
- ・ MOX燃料輸送船に対する抗議行動が11年前は300人、今回は30人という状況。

感想：・ VTRがよかった。

- ・ いよいよ私たちの地元でも見切り発車のプルサーマルが迫っていると感じました。